

アムンディ・マーケットレポート

6月の米国企業景況感～金融政策と市場への影響は？

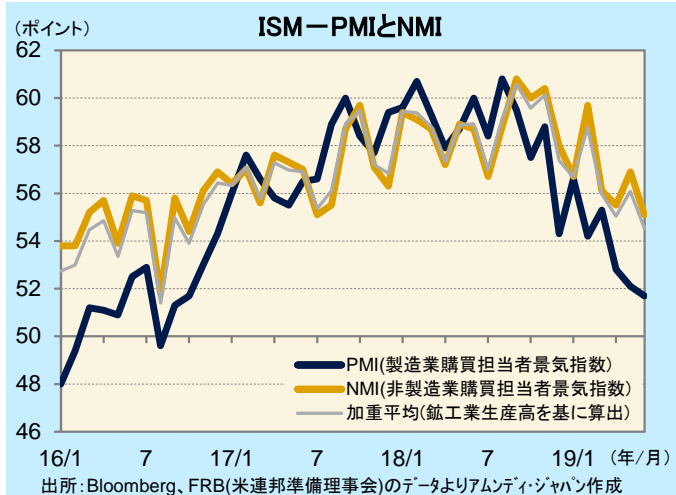
- ① 米国企業の景況感は弱い傾向が続いています。新規受注が弱く、先行きを楽観しにくい状況です。
- ② 製造業の景況感後退が、徐々に非製造業の景況感を押し下げ、全般的に業況拡大が鈍化しています。
- ③ 4-6月期は景気減速したと見られ、利下げの確度は高まっています。市場はそれを好感する流れです。

幅広い業種で業況拡大ペース鈍化

ISM(全米供給管理協会)が発表した6月の製造業PMIは前月比-0.4の51.7、非製造業NMIは同一-1.8の55.1でした。いずれも50以上なので業況は拡大しているものの、勢いが鈍化しています。PMIの低下が先導し、NMIを押し下げる流れが見られます。

構成指数の動きでは製造業は生産指数が前月比+2.8と回復したものの、新規受注指数は-2.7と、生産の先行きは楽観できません。一方、非製造業は活動指数(生産指数に相当)、新規受注指数共に低下、雇用指数も低下と、内需の減速が見られ、良好な雇用環境にも影響を与えつつあります。

ISMは業種別の景況感を、製造業、非製造業それぞれ18業種ずつ、合わせて36業種で○(改善)、×(悪化)、△(不変)の3段階で発表しています。6月は28業種、前月比+1と幅広い業種で業況拡大が続いているものの、同時に幅広くその勢いが鈍っていることが推察されます。



◇構成指数の前月比(ポイント)

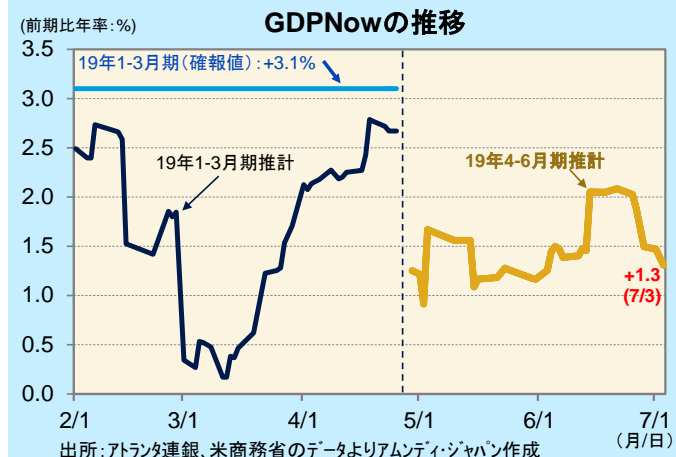
製造業		非製造業	
生産	+2.8	活動	-3.0
受注	-2.7	受注	-2.8
納品	-1.3	納品	+2.0
在庫	-1.8	在庫	-
雇用	+0.8	雇用	-3.1
PMI	-0.4	NMI	-1.8

出所: Bloombergのデータよりアムンディ・ジャパン作成

利下げの確度高まる

アトランタ連銀発表のGDPNow[※]によると、2019年4-6月期の実質GDP成長率推計値は前期比年率+1.3%(7月3日時点)となっています。内需は個人消費が底堅いものの、設備投資の減速が予想され、外需からの押し上げ効果も、4-6月期は剥落すると予想されます。

市場では、景気減速に伴うインフレ圧力の低下を受け、年内に複数回利下げするとの見方が大勢となっています。今回のPMI、NMIの動きは、米国景気の減速が続いていることを改めて示したものと見られ、利下げの確度は高まりつつあります。市場はそれを好感し、NYダウが史上最高値を更新しました。足元の景気減速よりも、利下げによる先行き景気刺激を期待する金融相場の様相が当面続きそうです。



※各経済指標から経済成長率(前期比年率)を推計

本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1907024>